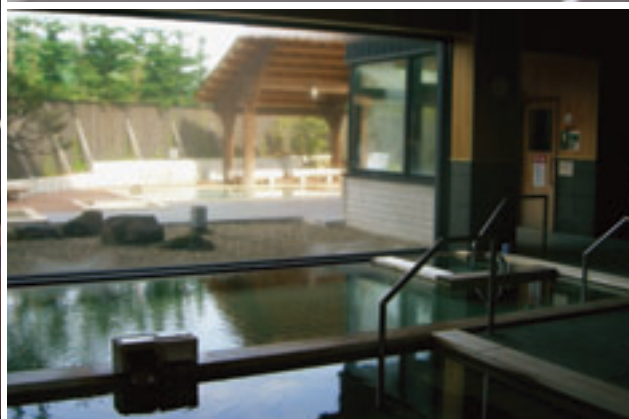




# 町村自治

4月 2013 平成 25年

● 発行所 青森県町村会 ● 編集発行人 山口 昇 ● 印刷所 長尾印刷(株)  
〒030-0801 青森市新町二丁目4番1号(年4回発行) TEL 017-723-1331 FAX 017-723-1347  
ホームページ <http://www.aomori-chousonkai.jp/> E-mail [ack@aomori-chousonkai.jp](mailto:ack@aomori-chousonkai.jp)



## 津軽の奥座敷「大鱈の湯ッコ」

開湯800年以上の名湯が、日帰り入浴で楽しめる温泉施設です。木と石をふんだんに使用した二種類の大浴場は男女日替わり入浴で、どちらの雰囲気も楽しむことができます。大鱈温泉駅前に位置し、自動車のほか、私鉄、JRでアクセスできます。

【No. 1198】

〔地域交流センター 鱈 come 大鱈町〕



- 本会定期総会…………… 2
- 自治功労者表彰名簿…………… 4
- 政務活動ほか…………… 6
- まちづくりへの挑戦 鱈ヶ沢町…12
- いまが旬! ……………14
- 随想 山田大鱈町長……………18



# 東日本大震災からの復興、地方交付税総額の増額など決議

## 永年の功績を称えて全国・県表彰



定期総会には町村長をはじめ約40人が出席



越善会長が町村財政基盤の充実強化を訴える

本会は二月二十二日、青森市のラ・プラス青い森で定期総会を開催し、平成二十五年事業計画及び予算などを決定したほか、東日本大震災からの復興など十一項目の決議を採択した。また議事に先立ち、全国町村会表彰の伝達及び青森県町村会表彰として自治功労者の表彰を行った。

定期総会には、町村長をはじめ来賓及び被表彰者など約四十人が出席した。

はじめに越善会長があいさつし、「本日表彰を受けられる皆様には、このたびの荣誉に対し心から敬意を表し、お喜びを申し上げる。二十五年

度の政府予算案では、地方交付税十七兆六百億円に加え別枠加算が確保されるなど政府の努力・工夫は受け止めるものの、一方で人件費反映分として約四千億円が削減された。もとより町村は長期に亘り人員並びに給与の削減に取り組み、その水準は国を大きく下回ってきた。国はこのような町村の努力を顧みることなく、一律に地方交付税を削減することは到底受け入れられないものではなく、引き続き

国町村会と共に国に訴えていく。住民一人ひとりが「この町や村に住んで良かった」と実感できる町村の実現のために、邁進していく」などと述べた。

### 表彰

#### 自治功労者

表彰では、全国町村会表彰として、自治功労者の鈴木田舎館村長、野坂横浜町長に表彰状と記念品を伝達した。

また、県町村会表彰として、自治功労者の鳥谷部五戸町副町長ほか、一般職員九十二名に表彰状と記念品を授与した。

最後に、被表彰者を代表して鈴木田舎館村長が謝辞を述べた。

## 議事

### 二十五年年度予算を 原案どおり決定

表彰終了後、来賓の三村知事が祝辞を述べ、また、同じく来賓として出席の白石県町村議会議長会長、中川県総務部長、大川県総務部市町村振興課長が紹介された。

引き続き、越善会長が議長となつて議事に入り、平成二十五年年度事業計画及び予算など議案五件について審議し、それぞれ原案どおり承認、決定した。

また、須藤副会長が「東日本大震災からの復興と農林水産品の風評被害対策並びに防災・減災対策の強化を図るこ



三村知事が来賓祝辞を述べる

と」など十一項目の決議を朗読し、満場一致で採択した。決議の実行運動の方法については、理事会に一任することとした。

なお、総会閉会后、県商工労働部より「県と市町村による制度融資の連携運用」について説明があった。

議案及び議決の内容は次のとおり。

○議案第一号 平成二十五年年度青森県町村会事業計画案（抜粋）  
町村を取りまく環境は、東日本大震災からの復旧対応と急速に進展する過疎化、少子高齢化や経済不況が続く中で、地域経済の活力低下や雇用情勢の悪化など、極めて厳しい状況下にある。こうした中、町村が自己決定・自己責任の原則に基づいた多様な地域社会を構築するに、財政基盤の充実・強化が不可欠である。

このため、平成二十五年年度の会務運営は、県、全国町村会及び関係団体と連携を緊密にして、町村自治確立のため、町村財政基盤の強化など町村が抱える諸課題の解決に向けた政務活動を、県内町村



決議文を読み上げる須藤副会長

の創意と英知を集結しながら積極的に行うとともに、本会の主要事業である町村長の健康維持増進のための健康管理事業をはじめ、町村長並びに町村職員の研修、表彰、町村職員採用試験、法令外負担金の規制、会報活動等をこれまでに以上に効果的・効率的に実施していく外、共済関係八事業については、公有財産の保全、町村職員の生活安定を図る立場から、市町村に対して、加入・継続を積極的に推進し、もって町村の振興発展と活力ある地域社会の実現に寄与していくものである。

○議案第二号 平成二十五年年度青森県町村会会費案  
会費総額は、六百四十九万二千元

とする。

○議案第三号 平成二十五年年度青森県町村会一般会計予算案  
収入支出予算総額を、収入支出それぞれ二億七千四百三十五万九千九百九十九円（対前年度比六千三百九十八万九千九百、三〇・四％増）とする。

○議案第四号 平成二十五年年度青森県町村会一般会計予算案  
収入支出予算総額を、収入支出それぞれ二億七千四百三十五万九千九百九十九円（対前年度比六千三百九十八万九千九百、三〇・四％増）とする。

○議案第五号 平成二十四年度青森県町村会一般会計補正予算（補正第一号）案  
千五百万円を繰越明許費とする。

### 決議（項目抜粋）

- 1 東日本大震災からの復興と農林水産品の風評被害対策並びに防災・減災対策の強化を図ること
- 1 地方交付税を増額するとともに、財源調整・財源保障の両機能を堅持すること
- 1 自動車取得税及び自動車重量税を見直す際は、町村の代替財源の確保を前提とすること
- 1 真の地方分権改革を強力に推進すること
- 1 市町村の強制合併につながる道州制は導入しないこと
- 1 TPP交渉への現状での参加に反対するとともに、農山漁村の再生・活性化を図ること
- 1 農林水産公共予算を復元させるとともに、食料・木材自給率を向上させ、食の安全・安心の確保を図ること
- 1 東北新幹線全線開業効果の継続獲得を図ること
- 1 道路、生活環境など社会基盤整備に係る公共事業費の必要額を確保するとともに、道路交通ネットワークの整備促進を図ること
- 1 厳しい雇用情勢の中、雇用・就業機会の創出のため、効果的な雇用対策を推進すること
- 1 少子高齢化の進行に対応した医療・保健・福祉施策を強力に推進するとともに、地域医療の確保・充実のため医師確保対策を推進すること

## 全国町村会表彰

自治功労者（敬称略）

町村長（就任三期以上退任）

三期 南津軽郡 田舎館村

鈴木 孝雄

三期 上北郡

横浜町

野坂 充

## 青森県町村会表彰

自治功労者（敬称略）

副町村長・教育長

（在職十五年以上）

三戸郡

五戸町 副町長

鳥谷部 禮三郎



鈴木田舎館村長が被表彰者を代表し謝辞を述べる

一般職の職員

（在職二十五年以上）

平内町 佐々木隆志、飯田千代志、飯田剛志

外ヶ浜町 三浦光昭

鱒ヶ沢町 石岡郁雄、松山茂樹、寺沢三千年、一戸一成、伊東博徳、加藤隆之、田附繁男、長谷川恵、工藤鈴子

深浦町 根上幸喜、熊谷利克

西目屋村 三上誠幸

藤崎町 鈴木幸夫、工藤峰靖、榊淳一、森篤、三上孝之、高木淳、白取喜代栄

鶴田町 三上徹、山田光裕、川村とも子

中泊町 加藤美奈子、成田まゆみ、川村幸子、三上洋子、佐藤八重子、佐々木左千子

野辺地町 杉山実、高松大樹、濱野徹、西館峰夫、七島良嘉、滝口修子、竹ヶ原好子、松館秀明、中村親男、横濱廣一朗

七戸町 鳥谷部宏、二ッ森春雄、小又久美子

六戸町 高橋寿典、円子富浩、館泰之

横浜町 古川朋久、小関むつみ

東北町 萌出大樹

おいらせ町 昆由美子

六ヶ所村 水戸真紀子

東通村 二本柳正志、南川国弘、角本晃

三戸町 遠山潤造、馬場均、貝守世光、井畑淳一、奈良正文、下屋敷ゆき子

五戸町 高橋明美、山本均、佐々木恵美子、盛田成子、高松真由美、奥村智子、沼田瑞



奥から全国町村会表彰の野坂横浜町長、鈴木田舎館村長、県表彰の鳥谷部五戸町副町長、一般職員代表の加藤氏（鱒ヶ沢町）

恵、川村弥生、倉橋波子、大久保淑子、和田真由美、奥山郁子

田子町 工藤義広、稲村カホ

ル、内沢繁美、村中栄子

南部町 庭田勝由、佐々木幸夫、川井浩

中部上北広域事業組合 相坂

隆之、坂井明美

北部上北広域事務組合 古川

雅子、福田仁、川邊弥生、高谷綾子、北村京子、飯田紅子、水戸哲也

三戸地区環境整備事務組合 鳴澤直樹

三戸郡福祉事務組合 菅嘉子

# 25年度事業計画などを審議

## 第1回理事会・支部委員会

本会は二月二十二日の定期

総会に先立ち、二月一日、青森市のラ・プラス青い森で、平成二十五年第一回理事会を開催した。出席者は、越善会長をはじめ役員町村長十一人。

理事会では、二十五年度事業計画などの議案七件及び、定期総会次第などの協議事項五件について審議し、それぞれ原案どおり承認、決定し、事業計画及び予算案は二月二十二日開催の本会定期総会に提出することとした。議案及び協議事項は次のとおり。



- 議案第一号 平成二十五年 度青森県町村会事業計画案
- 議案第二号 平成二十五年 度青森県町村会会費案
- 議案第三号 平成二十五年 度青森県町村会一般会計予算案
- 議案第四号 青森県町村会 公有物件共済事業等特別会計規程案
- 議案第五号 平成二十五年 度青森県町村会公有物件共済

- 事業等特別会計予算案
- 議案第六号 自動車損害賠償等共済金一時立替払基金規程を廃止する規程案
- 議案第七号 平成二十四年度青森県町村一般会計補正予算(補正第一号)案
- 協議事項**
- 協議事項1 平成二十五年 第一回青森県町村会定期総会次第案並びに案件について
- 協議事項2 決議案について
- 協議事項3 平成二十六年 度予算編成及び施策に関する要望運動案について
- 協議事項4 町村長の健康

管理研修案について  
○協議事項5 北東北三県町村長中央研修会・交流会の実施について

### 第一回自治協、生協支部委員会

理事会終了後、引き続き、全国自治協会県災害共済支部並びに全国町村職員生活協同組合県支部は委員会を開催し、議案一件、報告一件を原案ど

## 市町村長会議提言事項を決定

### 第2回理事会

本会は三月二十一日、青森

市の県共同ビルで第二回理事会を開催した。出席者は、越善会長をはじめ役員町村長十人。

理事会では、議案一件及び二十五年度市町村長会議(町村の部)における提言事項などの協議事項二件について審議し、原案通り決定した。議案及び協議事項は次のとおり。

- 議案**
- 議案第一号 青森県町村会 常務理事及び職員の給与の特例に関する規程の一部を改正する規程案

おり承認、決定し、本会定期総会に報告することとした。議案は次のとおり。

### 議案

- 議案第一号 平成二十五年 度全国町村職員生活協同組合青森県支部会計予算案
- 報告第一号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件(平成二十四年度全国自治協会青森県災害共済支部会計補正予算(補正第二号))

### 協議事項

- 協議事項1 平成二十五年の本会役員の選任について
- 協議事項2 平成二十五年 度市町村長会議(町村の部)について
- 協議事項3 平成二十五年六月五日に開催される同会議で、次の十四項目を提言することを決定した。
- 1 東日本大震災の復興対策について
- 2 町村財政基盤の充実強化について
- 3 観光客誘客対策の強化について
- 4 電子行政の推進について
- 5 海岸漂着物の廃棄処理対

策について

6 総合的な子育て支援対策の推進について

7 地域医療対策について

8 国民健康保険及び高齢者医療制度について

9 障害者保健福祉施策の推進について

10 雇用施策の推進について

11 農林水産業の振興について

12 社会基盤の整備促進等について

13 教育施策等の推進について

14 三陸復興国立公園指定に伴う支援について

### 第二回自治協支部委員会

理事会終了後、引き続き、全国自治協会県災害共済支部は委員会を開催し、議案二件を原案どおり承認、決定した。議案は次のとおり。

### 議案

- 議案第一号 全国自治協会 青森県災害共済支部の廃止について
- 議案第二号 全国自治協会 青森県災害共済支部委員会の組織及び運営に関する規程を廃止する規程案

## 除排雪経費の特別交付税配分を求める

県と合同で総務省に

本会は二月七日、東京都内で、県と合同により二十四年度特別交付税に関して総務省へ要望した。

これは、今冬の豪雪により町村の除排雪作業に係る費用が増大していることを受け、特別交付税による国の財政支

援を求め実施したもの。

また、県選出国会議員に対しても同要望書を提出した。

や三村県知事が参加し、総務省の小笠原総務事務次官、大石総務審議官、佐藤自治財政局長、黒田大臣官房審議官(財政制度・財務担当)に面談のうえ、特別交付税の配分を強く求めた。

## 平成24年度特別交付税の配分に関する要望

今冬は1月に入って冬型の気圧配置と低温が続き、県内各地で平年を上回る積雪を記録したことから、道路交通障害や除雪作業中の事故等、住民生活に大きな支障を来しております。

これらの状況に対応するため、本県町村は、通勤・通学路など生活道路の除排雪や高齢者世帯等の状況把握等、住民生活の安全・安心の確保、及び地域経済活動のために全力を挙げて取り組んでおります。

しかし、町村では増大する除排雪経費のため補正予算を組んで対応しているところもありますが、今後も降雪が続くことから、今冬の除排雪経費の不足が見込まれます。

つきましては、本県町村の現状及び厳しい財政状況をご賢察のうえ、平成24年度の特別交付税の配分について、特段の御配慮をお願いします。

## 特産品の輸出可能性を探る

町村自治振興会議を開催

本会は二月十三日、青森市のホテル青森で町村特産品の海外輸出に関する町村自治振興会議を開催した。

本会議は、県内町村が抱える様々な課題について、町村間で連携しながら現状と問題点を洗い出し、課題解決に向け調査研究を行い、町村振興に寄与することを目的に今年度から実施しているもので、

これまでは「空き家対策」をテーマに二回開催している。各町村の特産品である農林水産品の輸出の現状と課題について理解を深めるため、各町村等の担当者等十六人が出席した。

会議では、県観光国際戦略局国際経済課の藤森主幹から「県の輸出に関する取組みについて」と題し、県産農林水産品の輸出促進及び販路拡大に向けた県の取り組みについて説明があり、特に、りんご輸出促進に向けた課題や主な輸出先での青森りんごの市場性等について情報提供があつ

た。



県国際経済課の藤森主幹



りんごワーク研究所の葛西所長

また、板柳町産業振興公社りんごワーク研究所の葛西所長より「板柳町のりんご輸出に関する取組みについて」と題し事例発表があり、海外への販売経緯及び状況、「りんごワーク」ブランドの確立等について説明があつたほか、商談時のスピード感の重要性が訴えられた。

さらに、南部町及び新郷村からも輸出に関する取り組みについて紹介があつたほか、質疑応答及び意見交換を通じて、出席者は町村特産品の輸出に関する理解を深めた。

昨今、少子高齢化の進展により人口減少社会へと移行し、国内市場が確実に縮小すると見込まれる状況にあつて、農林水産業の振興とともに、本県町村が持つ魅力ある農林水産品を積極的に輸出して、海外からの外貨の獲得を図ることや、販路の拡大、海外からの評価により、国内の商品価値のアップと生産者及び事業者の所得向上を図ることが求められている。



会議には各町村等の担当者が出席

# 農山漁村の自立・再生を

## 東大大学院鈴木教授がTPP反対を訴える

### 農山漁村活性化研修会

本会に事務局を置く全国山村過疎地域振興連盟県支部並びに本会、県市長会、県市町村振興協会は四者共催により、二月二十七日、青森市のアツプルパレス青森で農山漁村活性化研修会を開催した。出席者は、町村長をはじめ県市町村の担当者等約六十人。

支部の太田支部長(佐井村長)があいさつし、引き続き、東大大学院農学国際専攻教授で農学博士の鈴木宣弘氏が「TPP問題を含めた今後の農政の課題と展望」と題し講演した。

講演の中で鈴木氏は、日米首脳会談後の共同声明を受け、TPP交

を崩壊させると批判。関税撤廃に例外を設けるとは書いておらず、重要品目が多い日本は、全てが聖域に含まれるはずがないと指摘。徹底的な規制緩和の断行は単純明快だが、格差社会を拡大させるもので、TPP参加によるメリットは少ないなどと述べた。

本研修会は、地域の価値ある自然や文化を継承しながら、農山漁村の自立・再生を目指すことを目的に開催しているもの。

はじめに主催者を代表し、全国山村過疎地域振興連盟県

は、産業の空洞化を招き、医療も含めた地域社会全体



鈴木講師がTPP問題について講演



研修会には町村長はじめ約60人が参加

# 25年度予算など決定

## 総合事務組合議会定例会

県市町村総合事務組合は、二月二十二日、青森市のラ・プラス青い森で平成二十五年度第一回議会定例会を開催した。出席者は、越善管理者をはじめ、議員等九市町村長。

定例会では、越善管理者が平成二十五年度予算など、七件の議案と一件の報告事項の提案理由を説明し、それぞれ審議した結果、原案どおり承認、決定した。

議案・報告は次のとおり。

- 議案**
- 議案第一号 平成二十五年度青森県市町村総合事務組合一般会計予算案
  - 議案第二号 平成二十五年度青森県市町村総合事務組合市町村税滞納整理特別会計予算案
  - 議案第三号 青森県市町村総合事務組合職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例案
  - 議案第四号 青森県市町村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案
  - 議案第五号 青森県市町村等非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例案
  - 議案第六号 青森県市町村総合事務組合長期継続契約を締結することができる契約を定める条例案
  - 議案第七号 青森県市町村総合事務組合負担金条例の一部を改正する条例案
  - 報告第一号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件(平成二十四年専決第一号) 青森県市町村総合事務組合職員給与に関する条例等の一部を改正する条例)



提案理由を説明する越善管理者

# 町村職員採用試験

## 24年度実施状況と25年度実施について

### 24年度実施状況

町村等職員（一部事務組合等含む）の任用事務の公平・効率化を図るため、本会が町村等の要請に基づき実施する町村職員採用試験の二十四年度実施状況は下表のとおり。

実施日は、日本人事試験研究センターが定めた七月二十二日（日）、九月十六日（日）の二回の全国統一試験と、その他の期日に実施した個別試験。

実施団体は、三十二団体（二十一町・六村・五事務組合）、総受験申込者数は千一人となり、昨年度に比べ一団体、八十二人の増となった。

### 25年度実施申込受付中

二十五年度に町村職員採用試験の実施を申込みする団体は、本会指定の期日までに、所定の様式にて本会へお知らせ願います。実施申込みや試験実施科目など、ご不明な点は本会業務課【電話017

(723) 13311 にお問い合わせ願います。

### 「25年度町村職員採用統一試験の概要

#### 採用統一試験の概要

#### ○試験期日・職種

・第一回（上級試験）

平成二十五年七月二十八日（日）

・第二回（中・初級試験）

平成二十五年九月二十二日（日）

#### ○場所

第一、二回とも青森市内

#### ○実施申込方法

各団体にご案内している

「平成二十五年年度町村職員採用試験実施申込書」を、

四月三十日（火）までに本会へ送付願います。

○その他留意事項等

・受験者数の報告

・第一回（上級試験）は六月

二十一日（金）、第二回（中・初級試験）は八月十五日（木）

までに、受験者名簿を本会へ提出願います。

・公募方法

受験者公募の手続きは各団

体が行うこととし、右記の名簿提出期日に間に合うよう公

平成24年度町村職員採用試験申込者数

(単位：人)

No.	団体名	職 種										合計	
		上 級		中 級						初 級			
		行政	土木	一般	保育士	社会福祉	保健師	栄養士	看護師	一般	消防	電気	
1	平内町	19	-	-	-	1	-	-	-	10	20	-	50
2	今別町	2	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	8
3	外ヶ浜町	-	-	-	-	5	-	-	-	31	-	-	36
4	蓬田村	-	-	-	-	-	-	-	-	6	6	-	12
5	鯉ヶ沢町	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	20
6	深浦町	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	11
7	藤崎町	86	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	86
8	大鰐町	115	-	-	-	-	-	-	-	68	-	-	183
9	板柳町	27	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	31
10	中泊町	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
11	野辺地町	42	-	-	-	-	2	-	-	33	10	-	87
12	七戸町	-	-	-	-	-	-	-	-	39	-	-	39
13	六戸町	15	-	-	-	-	-	4	-	-	8	-	27
14	横浜町	-	-	-	-	-	-	-	-	8	1	-	9
15	東北町	34	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	49
16	おいらせ町	37	-	10	-	-	-	-	2	7	-	-	56
17	六ヶ所村	11	-	-	-	-	2	-	-	6	2	-	21
18	大間町	4	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	14
19	東通村	10	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	18
20	風間浦村	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	9
21	佐井村	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	7
22	三戸町	8	-	-	-	-	-	-	13	5	-	-	26
23	五戸町	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27
24	田子町	13	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	19
25	南部町	12	2	-	-	-	-	-	8	7	-	-	29
26	階上町	32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32
27	新郷村	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	7
28	中広域事業組合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	16
29	三戸地区環境整備事務所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3
30	三福地区郡合	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	5
31	鯉ヶ沢地区郡合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	19
32	消防北部上北広域事務組合	-	-	-	-	-	-	-	-	19	7	-	26
	合計	519	2	11	20	11	8	8	21	309	89	3	1001

募をお願いします。受験票は各団体が作成し、試験当日に受験者が必ず持参するよう周知徹底を図ってください。

・試験当日の実施運営  
例年、本会職員と試験実施団体担当者が連携し対応しておりますので、ご協力願います。

・担当者事前説明会  
試験係員となる試験実施団体担当者を対象とした事前説明会を七月上旬に予定しています。試験実施申込みのあった団体に後日ご案内します。

・経費負担  
試験問題の作成及び採点に係る経費は、団体申込みの科

目料金を申込人数に応じて負担いただきます。

・個別試験  
統一試験日以外の期日の個別試験の実施は、本会は問題用紙等の提供・採点のみ行います。実施団体は、試験日の一カ月前までに本会にご連絡ください。



特選 弘前市「広報ひろさき」

「広報ひろさき」が特選  
25年県広報コンクール

本会に事務局を置く県広報協会の事務局は、一月二十八日、青森市の県共同ビルで平成二十五年県広報コンクール審査会を開催した。

同コンクールは市町村の広報活動の向上を目的に開催しているもので、県内市町村から広報紙十八点、写真二十八点、映像二点の応募があった。六名の審査委員による厳正

広報紙総合の部  
「広報ひろさき」が特選  
25年県広報コンクール

な審査の結果、広報紙総合の部で弘前市の「広報ひろさき」(24年8月1日号)が特選に、中泊町の「広報なかどまり」(24年8月号)が準特選となった。

上位入賞作品は、日本広報協会主催の全国広報コンクールに県代表として推薦し、四月に総合審査が行われ、入選作品が決定される予定。

なお、全国広報コンクールのウェブサイト部門には三点、広報企画部門には一点を本県から応募した。入賞作品は左記のとおり。



準特選 中泊町「広報なかどまり」

平成25年青森県広報コンクール審査結果

広報紙部門 (総合の部)

特選 弘前市「広報ひろさき」 8月1日号※  
準特選 中泊町「広報なかどまり」 8月号※

広報紙部門 (市部)

入選 十和田市「広報とわだ」 10月号  
佳作 三沢市「広報みさわ」 6月号  
奨励賞 黒石市「広報くろいし」 10月1日号

広報紙部門 (町村部)

入選 三戸町「広報さんのへ」 7月号  
佳作 外ヶ浜町「広報そとがはま」 12月号  
奨励賞 東北町「広報とうほく」 10月号  
奨励賞 おいらせ町「広報おいらせ」 11月号

広報写真部門 (一枚写真の部)

入選 黒石市「広報くろいし」 4月1日号  
佳作 つがる市「広報つがる」 9月号※  
奨励賞 弘前市「広報ひろさき」 8月1日号  
奨励賞 三沢市「広報みさわ」 4月号  
奨励賞 平川市「広報ひらかわ」 7月号  
奨励賞 おいらせ町「広報おいらせ」 5月号

広報写真部門 (組み写真の部)

入選 十和田市「広報とわだ」 10月号  
佳作 中泊町「広報なかどまり」 11月号※  
奨励賞 弘前市「広報ひろさき」 6月1日号

映像部門

入選 八戸市「八戸 魅惑の工場萌えツアー」  
佳作 東北町「12人の挑戦」 ※

※印は日本広報協会主催の全国広報コンクールへの推薦作品  
全国広報コンクールへの推薦団体は日本広報協会の会員団体

審査委員

所属	職名	氏名
東奥日報社	編集局整理部次長	館花光秀
デーリー東北新聞社	青森支社長代理	大嶋孟之
陸奥新報社	青森支社長	渋谷浩
青森放送	報道局長兼報道部長	山本恒太
青森テレビ	報道制作局長	菊谷浩志
青森朝日放送	取締役報道制作局長	山本修嗣

## 上十三・下北地域づくり研究会 新規会員募集中

上十三地域づくり研究会並びに下北地域づくり研究会は、平成22年2月にそれぞれ設立し、平成25年度においても、自治体職員の資質向上を図るため、両研究会の活動を継続します。会員申込みは、平成25年4月17日（水）までに所定の様式により申し込むほか、随時受け付けることとしております。興味のある皆さん、他市町村の自治体職員と共に、自己研鑽してみませんか。

### ■アドバイザー

青森公立大学 経営経済学部教授 天野巡一 氏

### ■対象市町村等及び24年度会員数

- ・上十三地域づくり研究会（35名）  
十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、おいらせ町、六ヶ所村、上北地域県民局
- ・下北地域づくり研究会（27名）  
むつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村、下北地域県民局

### ■お問い合わせ先

詳細は、本会業務課（電話：017-723-1331）までお問い合わせ願います。



東通  
村長

越善  
えちぜん

靖夫  
やすお  
氏

任期満了に伴う東通村長選挙は、三月十二日告示され、現職の越善靖夫氏（71）が、無投票で五選を果たしました。  
（略歴）村助役、村企画課長

## 平成25年度町村会関係主な行事予定

会議等の名称	日時	場所
町村会 正副会長会議	6月5日（水）10時30分	町村会役員室
町村会 正副会長・理事・監事・政務調査委員長・顧問合同会議	6月5日（水）11時00分	
県選出国会議員に対する重点施策説明	6月上旬予定	青森市内
平成26年度政府予算編成及び施策に関する要望運動	6月上旬予定	東京都内
町村会 臨時総会	6月18日（火）14時00分	県共同ビル「大会議室」
市町村総合事務組合 議会臨時会	6月18日（火）14時30分	町村会「会議室」
町村会 政務調査委員会	6月18日（火）14時50分	青森市内
町村会 監査会	7月中旬予定	町村会役員室
町村会 理事会	8月上旬予定	町村会役員室
町村長健康管理研修	8月21日（水）～23日（金） 1日目 定期総会 15時 2日目 健康管理研修 3日目 半日ドック	野辺地町まかど温泉ホテル 青森市・総合健診センター
町村会 理事会	10月予定	町村会役員室
町村長行政調査研修	未定	未定
法令外負担金等委員会	11月予定	町村会役員室
県選出国会議員との懇談会	11月19日（火）17時	東京都・ホテルニューオータニ
全国町村長大会	11月20日（水）正午	東京都・NHKホール
北東北三県町村長中央研修会 （岩手県・秋田県町村会との合同開催）	11月20日（水）15時30分	東京都・ホテルニューオータニ
北東北三県町村長中央交流会 （岩手県・秋田県町村会との合同開催）	11月20日（水）17時15分	東京都・ホテルニューオータニ

# 「町村の魅力発信事業助成事業」を

## ぜひ活用ください

- 1 助成金額 一町村当たり217万円を限度に実費助成
- 2 助成対象経費  
謝金、旅費、印刷製本費・複写費、賃借料、通信運搬費、共同事業に関する負担金、その他事業を行う上で本会会長が必要と認める事業

### ○主な助成対象事業例

- 1 イベント等開催に係る観光振興等に係る事業
- 2 地域活性化に貢献できる人材育成・確保事業
- 3 産業振興上必要な事業
- 4 地域資源の発掘、活用による商品開発、需要拡大事業
- 5 地域のイメージアップ・環境整備につながる施設整備事業

### ○申請期限

平成25年5月31日(金)までに、別に定める事業計画申請書を本会へ提出願います。

### ○お問い合わせ先

詳細は、本会業務課(電話 017-723-1331)までお問い合わせ願います。

## 青森県町村長等名簿

平成25年4月1日現在  
町村数30町村(22町8村)

区 分		町 村 長	生年月日	当選回数	任期満了年月日	副町村長
東郡	平内町	船橋茂久	S24.7.17	1	27.11.14	山田光昭
	今別町	小鹿正義	S6.2.18	3	25.10.12	阿部義治
	外ヶ浜町	森内勇	S13.3.2	2	25.4.23	
	蓬田村	古川正隆	S22.6.2	4	25.11.8	
西郡	鱒ヶ沢町	東條昭彦	S16.4.15	1	25.12.26	長内仁
	深浦町	吉田満	S28.9.9	2	28.12.20	本田満生
中郡	西目屋村	関和典	S42.2.24	2	26.2.25	
南郡	藤崎町	平田博幸	S32.6.2	1	27.11.19	
	大鰐町	山田年伸	S27.3.11	1	26.7.21	
	田舎館村	鈴木孝雄	S12.2.10	3	28.11.17	
北郡	板柳町	館岡一郎	S18.3.4	4	27.4.29	成田誠一
	鶴田町	中野撃司	S4.11.7	10	26.8.20	山本一郎
	中泊町	小野俊逸	S17.7.29	4	25.4.23	
上北郡	野辺地町	中谷純逸	S24.8.16	1	27.10.26	杉田三生
	七戸町	小又勉	S24.1.2	2	25.4.23	大平均
	六戸町	吉田豊	S25.3.28	6	28.1.27	保土澤正教
	横浜町	野坂充	S26.1.31	3	28.12.11	新渡喜広
	東北町	斗賀壽一	S19.7.2	1	25.4.23	蛭名敏治
	おいらせ町	成田隆	S26.2.4	1	26.3.25	西館芳信
下北郡	六ヶ所村	古川健治	S9.5.28	3	26.7.6	戸田衛
	大間町	金澤満春	S25.3.9	3	29.1.18	菊池武利
	東通村	越善靖夫	S17.1.7	5	29.4.12	林春美
	風間浦村	飯田浩一	S35.5.5	1	27.4.23	
三戸郡	佐井村	太田健一	S26.11.25	3	25.4.21	
	三戸町	竹原義人	S25.11.28	2	28.12.15	藤村正彦
	五戸町	三浦正名	S29.1.1	4	27.6.26	鳥谷部禮三郎
	田子町	山本晴美	S39.4.10	1	28.1.14	原昌徳
	南部町	工藤祐直	S30.5.22	4	26.2.11	坂本勝二
新郷村	階上町	浜谷豊美	S31.8.23	2	25.12.23	久保和子
	新郷村	須藤良美	S15.3.29	2	25.5.28	横田孝夫



イベントでは女性ランナーたちがそれぞれのペースで快走

走る喜び  
新たな観光スタイルの提案

# 全国初の「白神マラソン村」開村へ！

## 世界自然遺産「白神山地」に抱かれて

ブナ原生林の生い茂る世界自然遺産白神山地をはじめ、津軽の秀峰岩木山、金鮎の棲む清流赤石川、新鮮な魚介類豊富な日本海など、多くの誇れる自然の恵みを有する鱒ヶ沢町。

こうした資源を活用した地域振興の一環として、本年六月、全国初となる「白神マラソン村」が開村します。

### 全国初「マラソン村」を町に

「白神マラソン村」は町全体をマラソンコースに設定し、全国からランナーを誘致して、地域の活性化を目指す取り組みです。

マラソン村は昨年六月、ランニングやウォーキングなどの健康スポーツの普及を通じて社会貢献の道を探る「MCKプロジェクト」（松田千枝代表、東京）が、町に事業を

提案。

東京国際女子マラソンで最多の二十七回出場を記録した、女性ランナーの草分けとして知られる松田代表によると、全国各地と比較しても鱒ヶ沢町ほど走ることに適している環境はないとのことでした。

### 町など3者が覚書に調印 マラソン村3つのポイント

昨年七月、町と町観光協会、そして町への開村を提唱するMCKプロジェクトが、覚書



松田代表は、東京国際女子マラソン27回（最多）出場の記録を持つ

- に調印。「白神マラソン村」開村に向けた、本格的な取り組みがスタートしました。
- 「白神マラソン村」三つのポイントは次のとおり。
- ① 女子マラソン界のパイオニアによるマラソンスクール
  - ② マラソンだけでなく、マラニック、ウォーキングなど用途・レベル別に多くの入

# 白神マラソン村全体 MAP



## 白神山地コース

往復14キロ  
白神山地の壮大な自然と  
くろくまの滝でリフレッシュ

## 岩木山コース

全長40キロ  
パワースポット岩木山を  
一周。雄大な自然を堪能

## 日本海コース

全長20キロ  
日本海を見渡しながら、  
鱒ヶ沢の観光ランニング

③ 季節ごとに楽しめ、常にハ  
イシーズン

特徴的な取り組みとして、

松田代表と、そのコーチとし  
てサポートし続けてきた夫の  
松田泉氏を校長に、白神マラ  
ソンスクールを開校。美しく、

健康に、自分らしく走り続け  
るのに必要なプロ選手共通の  
動きのコツ、そして怪我をし  
にくいランニングフォーム、  
練習やレースで楽しく走り続  
けるためのメンタル面などぞ  
れぞれに合わせた練習内容を  
アドバイスします。

また、世界遺産登録地域と  
ほぼ同様のブナ林を観察でき  
るミニ白神や、岩木山麓の長  
平高原に位置する長平青少年  
旅行村、ハーブ三十種すべて  
が無農薬栽培のラベンダー畑  
、ナクア白神など既存の観光拠  
点が一体となった構想となっ  
ています。

### 開村プレイベントを開催

昨年九月には、「白神マラ  
ソン村」開村に向け、町観光  
協会が開村プレイベントとな  
る「白神口ハスランニングモ  
ニターツアー」を開催しまし  
た。

ツアーには、首都圏などか  
ら女性約百名が参加。雄大な  
自然に包まれながら、二日間  
にわたり、赤石溪流沿いや岩  
木山麓でランニングしました。  
また、ランニング初級者は、

健康に、自分らしく走り続け  
るのに必要なプロ選手共通の  
動きのコツ、そして怪我をし  
にくいランニングフォーム、  
練習やレースで楽しく走り続  
けるためのメンタル面などぞ  
れぞれに合わせた練習内容を  
アドバイスします。

### 開村まであとわずか 白神山地二十周年も契機に

開村は本年六月一日(土)。  
当日は記念式典開催のほか、  
参加者を募ったうえ、マラソ  
ンコース(準備中)を実際に  
走ってもらう予定です。



プレイベント2日目は岩木山コースを満喫

走り方講座で走り方を身につ  
けました。



赤石川の支流「滝ノ沢」にある「くろくまの滝」は、落差85m、幅15mと県内最大級

また、開村を前に四月  
二十四日(水)・  
二十五日(木)、  
松田代表とマラソ  
ンスクール校長の  
松田泉氏が来町し、  
講師として健康に  
まつわる講座を開  
催する予定となっ  
ています。

※鱒ヶ沢町の白神マラソン村  
に関するお問い合わせは、一  
般財団法人鱒ヶ沢町観光協  
会までお願いします。【電話  
0173(72)5004】



はまなす公園と新設海浜公園を結ぶ「なぎさ・ブリッジ」



問い合わせ先 今別町観光協会  
TEL 0174-35-2014

「海峡いまべつ春まつり」が5月12日（日）、海峡さざなみ公園で開催されます。

町内各団体やゲストによる歌と踊りのほか、今別の伝統芸能「荒馬」の演舞や地元のおいしい味がまつりを彩ります。今別の春をご堪能あれ！

※桜の開花状況に応じて開催日が1週間程度前後することがあります。詳しい日程は今別町観光協会までお問い合わせください。

歌や踊りで春を満喫！  
海峡いまべつ春まつり開催

いまが旬!  
いまべつまち  
今別町

東津軽郡



問い合わせ先 田舎館村役場企画観光課  
TEL 0172-58-2111

豊富な種類の苗を展示即売する「苗っこまつり」を今年も開催します。毎年多くの来場者で賑わいを見せるこのまつり、昨年も大盛況でした。箱いっぱいの野菜苗から好みの苗を厳選する、それだけでも楽しくなってきます。その他、色とりどりの花壇苗も販売しています。

4月29日（月）、田舎館村克雪トレーニングセンター（田舎館村中学校向かい）で開催予定です。皆さまのご来場をお待ちしております。

多種多様の苗がズラリ  
「苗っこまつり」

いまが旬!  
いなかだてむら  
田舎館村

南津軽郡



問い合わせ先 ふるさとセンター・板柳町経済課地域振興係  
TEL 0172-72-1500 ・ 0172-73-2111（内線 313）

5月8日、ふるさとセンターを会場に「マメコバチ感謝祭」が、18日には「林檎の華 満喫ウオーク」が開催されます。また、ふるさとセンター内レストラン・青柳館のメニューにりんごの焼き菓子「タルトタタン」が加わりました（前日まで要予約）。りんごの里板柳の景色・味覚をぜひご堪能ください。

可憐なりんごの花満開  
板柳町へようこそ！

いまが旬!  
いたやなぎまち  
板柳町

北津軽郡



問い合わせ先 横浜町役場産業建設課  
TEL 0175-78-2111  
大会公式ホームページ：<http://www.jap.co.jp/nanohana2013/index.html>

恒例の「よこはま菜の花マラソン大会」も23回目を数えるようになりました。

今回は、県内大会初のゲストランナーである湯田友美さんを招くとともに、それに合わせて参加賞もトートバッグへ見直しました。実業団時代から大変人気のある方であり、親しみやすいお人柄も好評です。この機会に参加してみたいはいかがでしょうか？

心地よい春風と県内大会初の  
ゲストランナーが待ってます！

いまが旬!  
よこはままち  
横浜町

上北郡

いまが旬!

おいらせ町

上北郡

おいらせ町の春のイベント  
春まつり2会場で開催

桜の開花時期に合わせ、日本一の自由の女神像のある「いちょう公園」と間木堤がある「下田公園」の2会場で「おいらせ町春まつり」を開催します。満開の桜を見物に、家族連れや友達同士でどうぞおいでください。

- 開催日 4月29日から5月6日まで
- 会場  
いちょう公園  
(青森県上北郡おいらせ町東下谷地内)  
下田公園  
(青森県上北郡おいらせ町向山地内)



下田公園 (左) といちょう公園 (右)

問い合わせ先 おいらせ町観光協会  
TEL 0178-56-4703

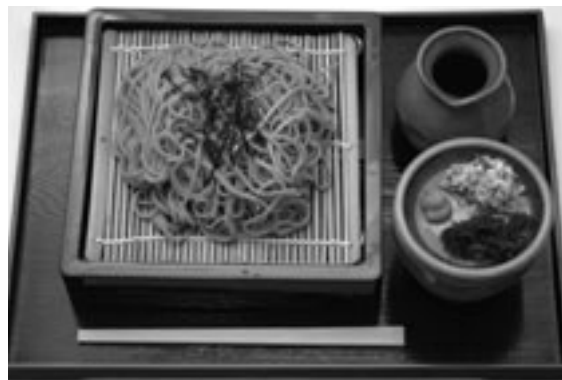
いまが旬!

風間浦村

下北郡

風間浦村名物  
布海苔そば

磯の香りとさわやかなのど越しが、話題を呼んでいる「名物 布海苔そば」。このそばは、風間浦村特産の布海苔を練りこんで打ったそばで、ミネラルやヨード分、繊維などが豊富に含まれ美容と健康にすぐれたそばです。桑畑温泉湯ん湯ん♪の食堂でざるそばでもかけそばでも350円でおいしくいただけます。また、地元商店でお土産としても販売し大人気です。



問い合わせ先 海峡いさりびの里活性化推進協議会  
TEL 0175-35-2010

いまが旬!

階上町

三戸郡

わっせで早生そばを!

閉校した小学校を活用した体験交流施設「わっせ交流センター」では、のどごしさわやかな自慢の階上そばや郷土料理を味わえる食堂をはじめ、特産品の販売、そば打ち・豆腐作りなど毎月季節ごとの体験イベントを開催中!木造校舎の木のぬくもりや地元の人たちのあたたかさに触れながら階上早生そばをご賞味ください!

- 営業日 毎週土・日(12/29~1/3除く)
- 営業時間 10:00~15:00
- ※団体の場合は平日利用も可能です。  
詳しくはお問い合わせください。



問い合わせ先 わっせ交流センター  
TEL 0178-88-2709  
(HP) <http://www.wasse.info/>

●お知らせとお願い

「あおり町村自治」は、会務活動状況及び災害共済諸事業の啓発事項、県市町村総合事務組合及び内部団体の活動状況のほか、町村長の紹介及び各町村の特集記事等を掲載し、3カ月に1回季刊発行しています。

本ページの「町村トピックス いまが旬!」は、各町村の時期、季節の旬の情報をPRするコーナーで、イベント、観光スポット、施設、特産品、町の話題・出来事などが満載!

各町村で、本紙への掲載希望事項等がありましたらご連絡ください。また、表紙写真や関連記事等掲載依頼の際は、ご協力をよろしくお願いたします。

## ● 共済契約できる自動車

1. あなたの所有する
2. あなたと同一世帯に属する親族（同居の親族）の所有する

- 自家用普通・小型乗用自動車
- 自家用軽四輪自動車
- 自動二輪車 ● 原動機付自転車

## ● 共済掛金と共済金額

共済金額	用途及び車種 区分	共済掛金額（年間）				
		自家用普通・小型乗用 小型貨物車(660cc超)	自家用軽四輪乗用 貨物車(660cc以下)	自動二輪車 (125cc超)	原動機付自転車 (125cc以下)	
A 型	対人賠償	30,000円	19,000円	17,000円	12,000円	
	対物賠償					無制限
	自損事故傷害共済					1,000万円
	限定搭乗者					1,500万円 500万円
B 型	対人賠償	33,000円	21,000円	20,000円	14,000円	
	対物賠償					無制限
	自損事故傷害共済					1,500万円
	限定搭乗者					1,000万円

※無共済等自動車傷害共済・他者運転特約も自動付帯。 ※自賠責保険と共済金の一括払も実施しています。

### 町村生協の自動車共済にご加入の皆様なら！

町村生協の自動車共済にご加入の方のみ、車両共済(保険)に加入できます

- 町村生協の自動車共済で過去3年間無事故で、新たに車両共済(保険)に加入する場合、新規契約と比較して

## 33%割引（9等級）からスタート！

- 一括払いでご契約の場合は、さらに **5%割引！**
- 保険料分割払（12回）も選択可能です。
- ロードサービスも無料でサービス！

いつでもご加入いただけますので下記までお問い合わせ願います。

問合せ先 全国町村職員生活協同組合青森県支部  
青森県町村会総務課〔共済事業〕 TEL017 (723) 1331



万一の事故に備えを！

# 自動車共済

課・職名・氏名	主要担当業務
<b>総務課</b> 課長 事務取扱 澤田 憲郎 副課長 原田 美香子 主任 上原 俊一郎 主幹 成田 聖子 主事 高橋 美登理 主事 工藤 誠子 臨時事務手 臨時事務手 小松田 真 臨時事務手 澤田 博美 臨時事務手 松田 清子 臨時事務手 小林 龍生	(総務関係) 人事、規約・諸規程の改廃、予算、関係諸団体等との連絡調整、各業務の統合調整、総会その他の諸会議、総務厚生委員会、顧問弁護士、表彰、軽自動車税の移動、文書の收受・発送、各団体の予算経理、現金・有価証券の出納・保管、決算、物品の出納・保管、他の所管に属しないこと (共済関係) 公有建物・自動車共済、職員火災・自動車共済、任意共済保険、団体定期保険、総合賠償補償保険、個人年金共済、消防設備資金
<b>業務課</b> 課長 事務取扱 土岐 昌二 副課長 吉本 知己 主査 大坂 謙	事業計画、町村行財政の調査、政務調査委員会、法令外負担金の規制、要望・請願、町村長等・町村職員の研修会、会報「あおもり町村自治」、町

青森県町村会

常務理事兼  
事務局長

山口 昇

## 青森県町村会等事務分担

(平成25年4月1日現在)

確かな安心を！

# 住宅火災共済



## 安い掛金で大きな補償を

### ●共済契約できる物件

- あなたの所有する居住用建物、または、その建物内にある動産
- あなたと同一世帯に属する親族が所有し、かつ、あなたが現に同居している建物または、その建物内にある動産

### ●共済掛金と共済金額

共済掛金（年額）は共済契約1口（10万円）につき60円です。  
契約額の最高限度は、600口で、6,000万円が限度です。

共 済 契 約 の 最 高 限 度			
区 分	口 数	共済金額	共済掛金
建物のみの場合	400口	4,000万円	24,000円
動産のみの場合	200口	2,000万円	12,000円
建物と動産を併せた場合	600口	6,000万円	36,000円

### 風水雪害特約制度

風水雪害特約制度は、風水雪害による損害について、火災共済契約に任意に付加することにより共済金を支払う特約制度です。特約を付加していない場合、風災、水災又は雪災による損害は、損害額が50万円以上の場合、損害の程度に応じ給付され、全損の場合では100分の10又は450万円のいずれか低い額の給付ですが、特約に加入することにより、火災共済契約の風水雪害共済金に加工して風水雪害特約共済金を損害額の50%又は火災共済契約額の50%のいずれか少ない額を限度に支払います。（ただし、風水雪害共済金と特約共済金の支払合計額が3,000万円を超える場合、3,000万円が限度となります。）特約共済掛金は、一口10万円につき50円です。（火災共済契約と同額を特約共済金額とします。）



### 青森県市町村総合事務組合

事務局長 山口 昇

課・職名・氏名	主要担当業務
<b>総務課</b> 参事・総務課長事務取扱 ・会計管理者 澤田 憲郎 副参事 原子美香子 主 幹 上原俊一郎	消防団員等公務災害補償等に関する事務、非常勤職員公務災害補償等に関する事務、自治会館の管理・運営に関する事務
<b>市町村税滞納整理機構</b> 機 構 長 古村 美鶴 課 長 高橋 淳一 副 参 事 伊藤 義章 総 括 主 幹 木村 拓司 総 括 主 幹 鹿内 勉 総 括 主 幹 平野 法泉 主 事 加藤 孝 奨 専 門 員 小山 孝 専 門 員 木村 榮一 研修職員(主幹) 福士 寿幸 研修職員(主事) 秋田 伸哉 非常勤事務員 櫻田のぞみ	市町村税等の滞納整理に関する事務

臨時事務手 鳴海 舞	村職員採用試験、町村の振興発展に関する調査・研究、市長村職員等の自主研究の支援、県広報広聴協議会、全国山村過疎地域振興連盟県支部、発電関係市町村全国協議会県支部
------------	--

やま だ  
山田

とし のぶ  
年伸

大鰐町長



随想

第17話

プロフィール

町議会議員。現在1期目。61歳。



開湯800年の歴史を持つ大鰐温泉

開湯八百年、そしてスキー場開設百年の歴史を持つ私たちの大鰐町は、青森県津軽地方の南端に位置し、国道七号線、JR奥羽本線、東北自動車道大鰐・弘前インターチェンジ、弘南鉄道など交通のアクセスに恵まれ、観光の町として発展してまいりました。この町に生まれ育った私は、この町を思う熱い気持ちを胸に三十八歳の時に町議会議員となり四期、十六年間町議会議員としての経験をさせていただきました。

## 町民と共に

## つくる大鰐町

そして、平成二十二年七月、町長に就任し三年目を迎えました。この間、バブル期のリゾート開発の債務処理問題も解決の目処がついたところですが、県内唯一の財政健全化団体となっている今、更なる財政改革を進めながらも住民サービスに全力を尽くして行かなければと決意を新たにしているところです。

さて、大鰐町の基幹産業は農業であります。そのほとんどがりんご生産となっております。しかし、りんご生産は天候の影響を受けやすく農家の経営安定化を考え、近年はトマトの生産に意欲を持って参画する農家も増えてきております。施設型農業であるトマト生産は天候の影響も受けにくく、効率の良い農業経営ができます。長年の目標であったトマトの生産額二億円突破も昨年達成することが

きました。今後もトマト生産施設の建設に際しては町としても補助に力を入れて行かなければと思っております。



地域団体商標に登録された「大鰐温泉もやし」

また、近年メディアでもよく取り上げられている、「大鰐温泉もやし」は温泉とともに三百五十年以上前から大鰐町に伝わる伝統野菜であります。七日間かけてじっくり育てられた大鰐のもやしは、シャキシャキと歯ごたえが良く、昔ながらの土耕栽培のため、ほのかな土の香りを抱き、独特の旨味があります。昨年五月には地域団体商標に登録され、今後地域を代表するブランド食材として、地域振興に活かして行きたいと思っております。このような伝統ある大鰐町の農業を守るために、農

家の後継者育成にも力を入れていかなければなりません。私たちの町も急速な高齢化と少子化が進行しております。高度情報化の進展、多様な環境問題への対応、長引く景気低迷の影響なども加わり、様々な社会情勢の変化に直面しております。

こうした社会情勢に対応し、誰もが安全、安心して暮らしていただける魅力あるまちづくりを計画的に進めるため、これまでの施策の成長と反省を踏まえて平成二十五年度より十箇年計画として『第5次大鰐町振興計画』を策定し、議会の承認をいただいたところで

す。計画では基本理念に『全ての町民が「安全・安心」に「健やか」で「心豊か」な暮らしができるまちづくりを目指す』と掲げております。

今後は、その目指すべき将来像の実現に向けて各種施策を計画的に推進するとともに、古くからの伝統や文化を守り、明るく元気な大鰐町を築き上げるため、町民本意の行財政運営に努めて行く所存であります。